

号外

なら医療DX通信

2026
FEB
Vol.10奈良女子大学との
医工連携見学・実習開催

1月28日、奈良女子大学の理系・情報系学生約20名(引率者含む)による奈良県立医科大学の見学・実習が行われました。これは「奈良県内国公立高等教育・研究機関における連携・協力に関する協定」に基づいて初めて実施された試みです。普段は情報工学を専門に学んでいる学生に医療現場や医学教育の実際を見学いただくことで、将来の進路も含めた医療分野への興味の醸成、情報学の視点からの課題発見、大学間の研究・開発の連携深化などを目的に行われました。

当日は、本講座だけでなく教育開発センター・スキルスラボ・情報推進課・中央放射線部なども協力いただき、学内・院内の様々な情報・AIの利活用、最新鋭の医学教育システムなどについて、実際の現場で触れながら学習していただきました。

今日の医学・医療の現場では、無数のIT製品、システムが活躍しており、今後ますますその関係性は深まっていくと予想されています。しかし、人材不足も大きな課題です。我々は、未来の医療情報人材の育成を、これからも積極的に進めていきます。



*さらに深く知りたい方は、
奈良県立医科大学 戦略的医療情報連携推進講座 までお問い合わせください。

Mail : spmic2024nmu@naramed-u.ac.jp

Dr.タマモンの
今月のひとこと

病院の持つ情報は“人の命に直結するデータ”です。現場の動線やコミュニケーション、緊急時の判断を見て、「便利さ」だけでなく「安全性」や「責任」の重みも感じてもらえたように思います。梅が寒さの中でふと咲くように、医療DXも派手さより“確かな芽吹き”が大切です。小さな改善の積み重ねが、患者さんの安心と職員の働きやすさにつながる。梅の香りのように静かに広がっていく変化を、次の担い手と一緒に育てていきたいですね。

